

ドーム

ドームとは望遠鏡を格納する建物で、半球型の回転部が特徴である。半球には開口部があり、観測時にはスリットと呼ばれる扉を開く。そして開口部を望遠鏡の向く方向に合わせて回転させる。これらによって建物内に設置された望遠鏡で観測が可能になる。望遠鏡はドーム内に納まってはいるが、ドーム建物とは独立している。これはドーム建物の振動を望遠鏡に伝えないようにするためである。

岡山天体物理観測所には3つのドームがある。

188cm反射望遠鏡ドームは観測所内でもっとも大きなドームで、所内唯一上下開きのスリットとなっている。観測室、分光器室、測定室、観測待機室、真空蒸着装置、見学者室があり、見学室は一般に常時公開されている。

91cm反射望遠鏡ドームは小型のドームで、観測室、実験室がある。

65cmクーデ型太陽望遠鏡ドームは、太陽光反射のための真っ白な酸化チタン塗装が施されており、日中の観測でもドームシーイング悪化を最小限にとどめる工夫がされている。

	188cm 反射望遠鏡	91cm 反射望遠鏡	65cmクーデ型 太陽望遠鏡
直径[m]	20	7.5	9.0
高さ[m]	23	9.7	9.3
台車[個]	48	ナシ	16
回転速度[°/min]	72	180	180
回転部総重量[t]	150	不明	25
開口部	幅6m×長さ22m 110°	幅2.6m	幅2.4m
スリット	上下開き(2枚)	両面横開き	両面横開き
スリット開閉時間 [秒]	660	35	10
防風ブラインド	6m×15m	ナシ	ナシ
昇降床 直径[m]	10	3.5	ナシ
揚程[m]	3.8	1.5	ナシ
速度[m/min]	2(通常)	2	
積載荷重[t]	1(通常) 8(西床微動時)	不明	
製造会社	石川島播磨重工業	石川島播磨重工業	三井造船

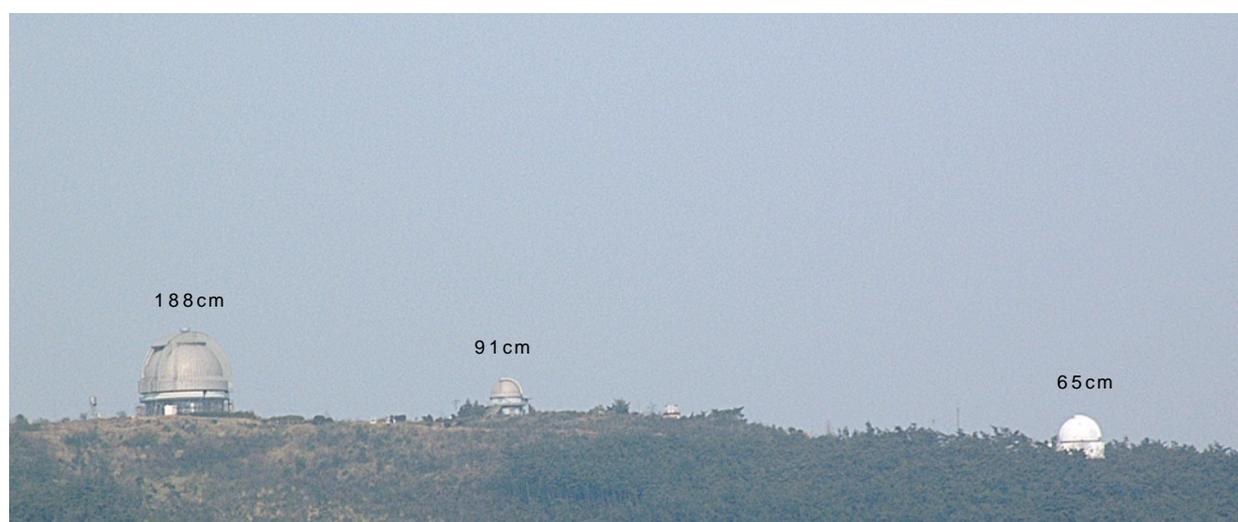


図2-7 西側よりドーム群を眺める。向かって左手が北